



わたしにとってアンパンマンとは
ばいきんまんとわたし

ドキンちゃんのように生きること
とにかくパンが好き！

ふたりの関係ーともだち

あざとかわいいメロンパンナちゃん

ロールパンナちゃんの葛藤

王子様のダブルパンチ

あかちゃんまんを育てたい

はじめての映画館

楽園ーアンパンマンこどもミュージアム

わたしのお気に入りキャラクター

やさしい世界ーなかまたち

やなせたかし先生が遺したもの

あとがき

ばいきんまんとわたし

わたしは昔から母に「みるくはドキンちゃんみたいだよね」と言われていました。ドキンちゃんと同じくわたしもかなりのわがままで、我慢のきかない子だったからでしょう。

ですが、似ているというのはその部分だけではありません。実は、ここだけの話、わたしはもう結構大人なのですが、今でも一人称がちゃんづけです。本名の名前が3文字なので、みるちゃん（みるくばるふえはもちろんペンネームね）と呼ぶ感じ。ドキンちゃんも自分のことをドキンちゃんと呼んでいましたよ。わたしは生まれた時から周りにずっとみるちゃんみるちゃんと呼ばれていて、自分でもずっとそう呼んでいました。中学生くらいのときに、もうさすがに、恥ずかしいからやめようと決心したのですが、どうしても、やめられませんでした。その後も高校生になったら、二十歳になったら、と試みてはみたものの難しく無理で今に至ります。なので、もういいやと、諦めました。おばあさんになってもわたしは○ちゃんねーと言います。開き直る。まあ、お友達や、知り合いなどの家族以外の人には言わないのですけれどね。でも、母と出かけていたら、外でも○○ちゃんと言ってしまうので、道ゆく人はすこし不思議に思うかもしれません。ても仕方ないです。あんなに強く心に決めてもやめられないのですから、これか

とにかくパンが好き！

わたしは三度の飯よりもパンが好きです。

お米も好きだけれど食べない日があってもいいかなってかんじ。

美味しいパン屋さんで朝食に食べるパンを買っていると、次の日の朝、起きるのがとても楽しみになります。優雅にブ렉クファーストを取るのが至福の時間です。

ちなみに、わたしはパン講師の資格を持っています。

小学4年生からパン教室とケーキ教室に通い始めて、5年生の時にパン講師の資格を取得しました。おそらくライセンスを取ったのはわたしが教室の中で最年少だったかと思います。その教室のパン作りの先生ができるブレッドライセンスというものです。学校に行っていなかったものですか（この辺のことを詳しく知りたい方は小児精神病棟入院記録『少女よぬいぐるみを抱け』を読んでね。宣伝♡平日の真昼間、母と二人で毎日パン作りのお勉強に勤しんでいました。

習い始めてからさまざまな種類のパンを作りました。幾分前のことですので、記憶が定かではないのですが、最初に作ったのは体験入学のときのイングリッシュマフィン。あのCMでも有名なパンです。とても

ふたりの関係―ともだち

わたしは人と関わるのがあまり得意ではありません。お友達も少ないし、何をするにもいつもひとりだし。大人数での会話だと自分がいつ話して良いものなのかわからない。でもだからといってずっとひとりなのは寂しい。わたしはお友達との関係も一対一のを好みます。3人以上の会話が苦手です。その様な場面ではわたしの役割はいつも二極化します。まず1パターン目は、意識はしてないのですが、突拍子もないこと、変なことを言い、周りを笑かす不思議ちゃんキャラになること。(ドキンちゃんの話で出てきたみたいに)もう1パターンは完全に空気化し、残る二人の話をぼんやりとぼうつとしながら聞くということ。わたしは大抵そのどちらかの役回りをこなします。一つ目はまだ話の輪の中に入ることができているので辛うじて楽しめるけれど、二つ目は蚊帳の外なので、正直なところつまらないです。その点、ふたりだけの、一対一での関係というのは、会話のキャッチボールをふたりで永遠に続けたいだけなので、とても気が楽なのです。相手が言ったこと(ボール)を受け取って自分の考え(ボール)を投げ返す。それを繰り返せばいいだけなのです。そんな生きづらさを感じていたころアンパンマンを見て気がついたことがあります。

はじめの映画館

アンパンマンは毎年新作の映画が公開されます。映画デビューはアンパンマン！と謳うくらいで、公開時は赤ちゃんや子供、そのお母さん達で賑わいます。わたしの映画デビューももちろんアンパンマンでした。たぶん2歳くらいの頃だったと思います。わたしは幼児期、幼少期の記憶が割と残っている人間なので臍げですが、微かにその光景を覚えています。暗いところで、轟音が鳴り響く中、みんなが一斉にひかる画面に釘付けになっていたというのを。少し怖いなという感じもしたけれど、母もすぐく集中してみているのが感じ取れたので、（幼児なのにそんなこと気がつくのか）わたしも食い入るようにアンパンマンをみた。それにわたしの母はいつもアンパンマンの映画で泣いています。感動する作品が多いです。わたしは中でも『それいけ！アンパンマンいのちの星のドリー』という作品が好きです。生きているお人形さんが主人公で、クライマックスがとても泣けるんです。ゲスト声優は安達祐実さんで、無邪気できままな女の子の声を演技で上手に表現されていて感心します。

アンパンマンはテレビアニメだけではなく、映画も好きなわたしですが、毎年新作が公開されても、今まではもう大人だしな、行っても周りには赤ちゃんや子供ばかりだろうと思いきや長年観に行っていない。この